

北島昌史¹、穂坂綱一¹、植草秀裕¹、足立純一²、高井良太²
¹ 東京工業大学理学院、² KEK-PF²

本実習のコンセプトは、‘放射光を使いこなせる人材を養成するためには、蛇口をひねれば出てくる水を使うような実習ではなく、ユーザーには見えない光源加速器の存在を意識できる実習が望まれる’、である。そのために放射光パルスと同期した時間分解光子計数を根幹に置いた実習を BL20A で行っている。装置の概略を図 1 に示す。PF リングからのパ

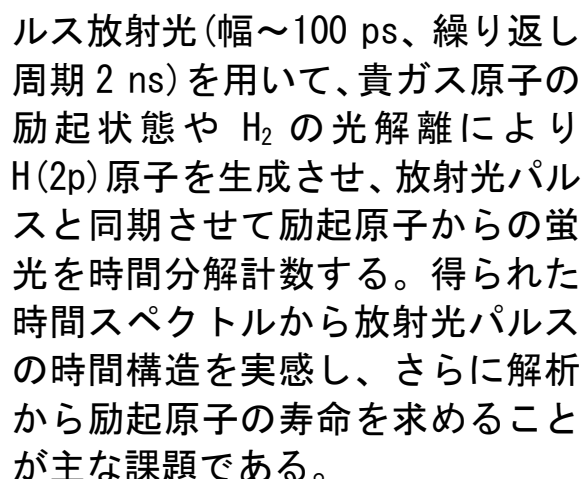


図 1 実習装置の概略

2020 年度は、新型コロナによる影響により、非常に厳しいスケジュールとなったが、オンライン講義等も取り入れながら、PF での実習を実施することが出来た。さらに光源加速器やビームラインの見学も実現した。本実習を実施するにあたり、KEK-PF には大変お世話になっている。

J-PARC MLF における統計情報公開 Public Disclosure of J-PARC MLF Statistic Information

五十嵐美穂¹、伊藤崇芳¹、岡崎伸生¹、山田悟史²

1 総合科学研究機構(CROSS)、2 高エネルギー加速器研究機構

J-PARC MLF は世界中から実験課題申請を受け付けており、以下の 3 つの観点から統計情報の公開が重要である。

1. 利用成果について社会に説明する責任がある。
2. 実験施設の効率的な運営を行うためにも利用成果の把握と検証が必要である。
3. ユーザーへの現状報告を行う。さらに、潜在ユーザーへの情報提供も念頭に置き、新規ユーザー獲得につなげる。

上記を踏まえ、2019 年秋より統計情報の公開を開始し、定期的に更新している。統計情報は 3 点あり、利用統計、運転統計、成果統計である。2021 年 1 月現在の内容は下表の通り。

利用統計	申請数の推移(短期課題)	
	採択数の推移(短期課題)	
	採択課題実験責任者所属割合(2019A 期 B 期短期課題)	
	採択課題分科会別割合(2019 年度短期一般利用課題)	
	MLF ユーザー数の推移(全課題)	
運転統計	ビーム強度の履歴	
成果統計	論文数および Top10%論文割合の推移	
	MLF Top10%論文一覧	2017 年出版論文
		2018 年出版論文
	論文化率(短期一般利用課題)	
	論文分野割合(2006-2020 総計)	

本発表においては、これらの公開情報の詳細を紹介する。

MLF 統計情報: <https://mlfinfo.jp/ja/aboutmlf/statistics.html>